

# 退任のあいさつ

26年にわたるご支援に深謝します。

下 村 勉

私、昨日（6月30日）をもって社会福祉法人唐橋福祉会の顧問を退任しました。

振り返れば、1998年10月1日、妻とともに理想の保育園づくりを決意して以来26年近く、ひたすら走り続けてきました。

2年半の開設準備期間には、当局の認可や3億円もの建設資金の確保など、多くの難関がありましたが、これを何とか乗り越えて2001年4月1日、大津あいあい保育園はこの地に誕生しました。市当局をはじめ多くの知人や地域の人々に支えられての開園でした。竣工式で「感謝・感動・感激」と叫んだのが昨日のことのようです。

新設園の多難な6年を経た2007年7月、初代園長が病魔に襲われ、2009年1月に他界しました。このため、私は理事長のまま園長職を兼任して約10年、職員たちに支えられて「あいあいの火」を燃やし続けてきました。

2017年4月、園長職は現在の園長に託し、昨2023年6月には理事長職も現理事長に譲ることができました。このように今、若い後継者たちにこの園を託して安心して退任できることは望外の喜びです。

この間にこの園を卒園した人たちは509名、途中退園や一時保育を含めると800名を越える人たちがこの園で保育を受けました。私たちは、人間形成にとって最も大切な乳幼児期の子育てを担ってきました。また、同時に1000名以上の保護者の皆さんの就労を支えてきました。さらにのべ209名の職員の就労の場も確保してきました。

そしてまた、この間に合計40億円を超える税金がこの保育園の子育てのために注がれてきました。

今、大津あいあい保育園は、大津の南の空に輝く藍い星となって、多くの人たちが見つめています。地域や保護者、職員の方で子育ての拠点として、引き続き発展していくことを願います。私も陰ながら支援していきたいと考えています。

これまでに寄せられたご厚情に深謝しながら、退任のご挨拶といたします。

ありがとうございました。

2024年7月1日